

危険物取扱者 [乙種・性消(第4類危険物)・正誤(6)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 灯油の引火点は常温以下である。【 】
- (2) アセトアルデヒドの引火点は常温以下である。【 】
- (3) 二硫化炭素は水より重い。【 】
- (4) キシレンの火災に、水溶性液体用泡消火剤以外の泡消火剤は適切である。【 】
- (5) 第4類の危険物は火気、加熱を避けて貯蔵すること。【 】
- (6) ジエチルエーテルは沸点が極めて低く、揮発性は低い。【 】
- (7) ガソリンが皮膚に触れると、皮膚炎を起こすことがある。【 】
- (8) ベンゼンは付加反応よりも置換反応の方が起こりやすい。【 】
- (9) ピリジンは水よりも軽い。【 】
- (10) メタノールは水に溶ける。【 】
- (11) 軽油の沸点は水よりも高い。【 】
- (12) 酢酸はコンクリートを腐食させる。【 】
- (13) 重油の発火点は100℃より高い。【 】
- (14) ニトロベンゼンは水よりも重い。【 】
- (15) 動植物油類の引火点は300℃程度である。【 】

危険物取扱者 [乙種・性消(第4類危険物)・正誤(6)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 灯油の引火点は常温以下である。 【×】
第2石油類。引火点は21℃以上70℃未満。
- (2) アセトアルデヒドの引火点は常温以下である。 【○】
特殊引火物。引火点は-20℃以下。
- (3) 二硫化炭素は水より重い。 【○】
比重1.3で水より重い。
- (4) キシレンの火災に、水溶性液体用泡消火剤以外の泡消火剤は適切である。 【○】
非水溶性であるため、適切である。
- (5) 第4類の危険物は火気、加熱を避けて貯蔵すること。 【○】
火気、加熱を避けて貯蔵する。
- (6) ジエチルエーテルは沸点が極めて低く、揮発性は低い。 【×】
揮発性が高い。
- (7) ガソリンが皮膚に触れると、皮膚炎を起こすことがある。 【○】
皮膚炎を起こすことがある。
- (8) ベンゼンは付加反応よりも置換反応の方が起こりやすい。 【○】
付加反応より置換反応の方が起こりやすい。
- (9) ピリジンは水よりも軽い。 【○】
比重0.98で、水よりも軽い。
- (10) メタノールは水に溶ける。 【○】
水に溶ける。
- (11) 軽油の沸点は水よりも高い。 【○】
沸点は水よりも高い。
- (12) 酢酸はコンクリートを腐食させる。 【○】
コンクリートを腐食する。
- (13) 重油の発火点は100℃より高い。 【○】
発火点は250℃から380℃である。
- (14) ニトロベンゼンは水よりも重い。 【○】
比重1.2で、水よりも重い。
- (15) 動植物油類の引火点は300℃程度である。 【×】
引火点は250℃未満である。